



東京都立墨東病院

連携だより

発行 東京都立墨東病院 事務局医事課
〒130-8575 東京都墨田区江東橋4-23-15
TEL: 03-3633-6151(代表)
<http://www.bokutoh-hp.metro.tokyo.jp>

VOL.58

地域医療構想を見据えた連携に向けて

4月から事務局長に着任いたしました井村でございます。広尾病院、駒込病院に続き、3回目の都立病院勤務となりますが、8年ぶりの現場ということもあり、緊張感を持って日々業務に励んでおります。地域の医療機関、先生方には日頃より大変お世話になっております。あらためてお礼を申し上げます。

さて、この夏に策定された「東京都地域医療構想」では、少子・高齢化が一層進展する2025年において「誰もが質の高い医療を受けられ、安心して暮らせる『東京』の実現」に向けた基本目標等が示されています。その目標の一つに、「東京の特性を活かした切れ目のない医療連携システムの構築」が掲げられています。急性心筋梗塞や脳卒中などの救急患者の多くは、住所地の近くで治療を受けており、疾病や医療機能ごとに多様な医療連携が行われていること、これが東京都の特性のひとつです。この特性を活かしつつ、高度急性期から在宅医療に至るまで、東京都の医療資源を最大限に活用した医療連携が構築されていることが2025年のあるべき姿としています。

現在から一歩進んだあるべき「連携」に向けては、病床の機能ごとに必要な医療を確保するとともに、地域の実情に応じた医療機能の分化と連携を進めることが必要です。地域医療構想の試算では、区東部における2013年の高度急性期、急性期の病床数と2025年に必要とされるそれぞれの病床数を比較すると、合計で約665の病床が不足すると見込まれています。

地域医療構想や病床数の試算を踏まえ、墨東病院は高度急性期の医療機能を担うべくその病院づくりを進めております。平成26年8月に感染症医療や救命救急医療の充実強化を図るための新棟を立ち上げました。救命救

急センターでは、CT検査と血管造影が同室で行えるIVR-CTシステムや、高気圧酸素治療室を備え、高度な医療に対応しております。さらに、新棟1階に新たな放射線部門を整備し、MRI、CT、一般撮影装置を増設。これまで以上に迅速な診断検査を行っています。



東京都立墨東病院 事務局長
井村 琢

平成27年には、SCU6床の開設を皮切りに、HCU12床の整備と運用を開始。ユニット系の拡充に着手しました。そして、平成28年度は、昨年度に整備した日帰り手術センターが本格稼働を開始、CCUも6月から6床による運用を開始しております。さらに、29年春からの稼働に向けて、ハイブリッド手術室の整備に着手します。手術室に血管撮影装置を装備したハイブリッド手術室では、ステントグラフトや、TAVIなどのカテーテルを用いた血管内治療、さらに脳神経外科領域の手術など、高度かつ低侵襲な治療が提供可能となります。

三次までの救急医療、周産期医療、精神科救急、及びがんなど、地域の中心的機能を果たす医療についても、これまで以上の役割を担うべく力を尽くしてまいります。

地域医療の一層の充実に向けては、十分な医療資源の確保と適正な医療機関の機能分化、そして地域の先生方との顔の見える連携が必要不可欠です。地域の先生のご理解とご協力を賜りながら、当院は引き続き連携を深めるよう努力してまいります。同時に、求められる医療機能の充実にも取り組んでまいりますので今後ともよろしく願いいたします。

平素より地域医療機関の先生方には大変お世話になっております。

墨東病院診療放射線科について紹介させていただきます。

当院は学会認定の放射線科専門医修練機関であり、また日本 IVR 学会専門医修練施設でもあります。

当科のスタッフは常勤医 4 人（松岡、不破、高橋、西原）、非常勤医 2 人（赤松、後藤）の 6 人体制で診療に臨んでいます。常勤医 4 人はすべて放射線科専門医、さらに 2 人（不破、高橋）が IVR 専門医、1 人（不破）が腹部大動脈ステントグラフト指導医の資格を有しております。

当科の主な診療内容は大きく 2 つに分けられます。

一つは主に CT, MRI を用いた画像診断部門、もう一つは画像診断を用いた治療である IVR（画像ガイド下治療）部門です。

画像診断部門

近年、CT, MRI をはじめとする画像診断技術の発達 は著しく、臨床の場においてもその重要性は非常に高まっております。現代医療は画像診断なしでは成り立たないといっても過言ではありません。医療画像は適切な評価がなされなければその意義は不当に低いものとなり、その点において画像診断医の責任は非常に重いと考 えております。

CT, MRI などの画像検査は正確、かつ迅速になされるべきであり、基本的には施行日の翌営業日までに画像と検査報告書を作成させていただいております。

また、医療画像に対するセカンドオピニオンが必要な場合、あるいは画像検査そのものに対する必要性、使い分け、適応、危険性などの疑問がございます場合は当科医師まで随時ご相談ください。

IVR（画像ガイド下治療）部門

IVR（Interventional Radiology）とは日本語では画像ガイド下治療と訳されることが多く、X 線透視装置、血管造影装置、CT、超音波装置などの画像診断装置を用い、皮膚から血管や臓器などを穿刺、体内に各種器具（カテーテル、穿刺針など）を留置、これを用いた治療を意味します。患者さんの体に大きな傷を作ることなく、比較的 低侵襲かつ短時間で治療を行えることが特徴です。いず れの治療においても外科、内科、その他の他診療科との 緊密な協力のもと、IVR 手技に臨んでおります。

手技は IVR 専門医の 2 名あるいはどちらか 1 名で行い、随時その他の放射線科医師も加わります。

大動脈ステントグラフト内挿術に関しては心臓血管外科と共同で手技を施行しております。

IVR 手技は主に血管系、非血管系 IVR に大別されます。

具体的に当院で施行可能な治療の一部を以下に記載いたします。

血管系 IVR：

- ・肝細胞癌に対する TACE、肝動脈動注療法ポート留置術
- ・外傷性出血、術後性出血、産科出血に対する動脈塞栓術
- ・症候性子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術（UAE）
- ・咯血に対する気管支動脈塞栓術（BAE）
- ・胃静脈瘤（その他の静脈瘤を含む）に対するバルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術（BRTO）
- ・経皮経肝静脈瘤塞栓術（PTO）
- ・内臓動脈瘤（腎動脈、脾動脈、その他）に対する塞栓術
- ・胸腹部大動脈瘤、胸腹部大動脈解離に対するステントグラフト内挿術（TEVAR, EVAR）
- ・動静脈奇形、血管腫 / 静脈奇形（肺、肝臓、皮膚、上下肢、骨盤内、その他）に対する塞栓術
- ・副腎静脈サンプリング
- ・上大静脈症候群に対するステント留置
- ・血管内異物回収（カテーテル断片など）

非血管系 IVR：

- ・経皮的膿瘍ドレナージ
- ・画像ガイド下経皮的生検（肺、肝臓、後腹膜、その他）
- ・骨粗鬆症性圧迫骨折、骨転移による病的圧迫骨折に対する除痛を目的とした骨セメント注入療法（経皮的椎体形成術）

上記のごとく IVR による治療可能な病態は広範囲に及びます。が、上記以外にも対応可能な病態も当然ございます。

もしかしたら IVR で治療可能では、と思いがたるような病態の患者さんがいらしたら是非、当科の IVR 専門医にご相談ください。

リンパ浮腫外来および再建外科外来のお知らせ

墨東病院にリンパ浮腫治療および再建外科に関する外来が開設されました。世界最先端の技術である超微小血管外科（スーパーマイクロサージャリー：0.5mm未満の血管吻合）を用いた治療を専門とする形成外科の山本匠が、外来診療から手術・術後フォローまで一貫して担当致します。

●リンパ浮腫外来（火曜午前）

乳がん治療後の上肢リンパ浮腫や子宮癌治療後の下肢リンパ浮腫などの二次性リンパ浮腫や、原因不明のリンパ浮腫の診断・治療を行っております。身体診察・ICGリンパ管造影などによる診断・評価の後に、圧迫療法およびリンパ管細静脈吻合術（LVA）・血管柄付き選択的リンパ節移植術などの外科治療を用いて治療を行います。墨東病院では2015年11月よりリンパ浮腫外科治療を開始し、2016年7月までの9か月で120件の手術実績があります。

詳しくは墨東病院“リンパ浮腫外来”ホームページをご覧ください。

http://bokutoh-hp.metro.tokyo.jp/introduce_part/lymphedema.html

●再建外科外来（月曜午前・金曜午前）

月曜・金曜午前の形成外科外来にて再建外科治療に関する外来を行っております。各種組織欠損の再建（乳

癌術後欠損に対する深下腹壁動脈穿通枝皮弁移植、指欠損に対する趾移植術など）、各種機能再建術（顔面神経麻痺再建術、断端神経種に対する知覚皮弁移植術など）など、通常の方法では治療困難な症例にスーパーマイクロサージャリーによる治療を行っております。墨東病院では2015年11月より遊離組織移植による再建術を開始し、2016年7月までの9か月で25件の手術実績があります。

詳しくは墨東病院“形成外科”ホームページをご覧ください。

http://bokutoh-hp.metro.tokyo.jp/introduce_part/plastic.html

形成外科 山本 匠



スペインの世界遺産 Sant Pau 病院におけるスーパーマイクロサージャリー（リンパ管細静脈吻合術）の公開手術

新CCU開設のご案内

区東部の医療機関の先生方には、医療連携に協力していただき感謝しております。

さて、平成28年6月1日CCU（心臓血管用集中治療ユニット）が従来の3床（ICU/CCUの一部）から新たに6床の単独病床として開設しました。これにより急性心筋梗塞、急性大動脈解離、肺塞栓症、急性心不全、不整脈など近年著明に増加している循環器疾患の受け入れがより円滑になり、区東部の基幹病院としての当院の機能がさらに強化されるものと自負しております。当院循環器科はさまざまな循環器系疾患の診療に積極的に取り組んでおり、主な治療手技の平成27年の年間件数はPCI（経皮的冠動脈インターベンション）527件、

ASOに対するPPI（経皮的動脈インターベンション）94件、不整脈に対する電氣的焼灼術（カテーテルアブレーション）139件、心房細動に対するアブレーション（肺静脈隔離術；PVI）75件となっています。また平成29年にはハイブリッド手術室が造設される予定で、これに伴い循環器科でも経カテーテルの大動脈弁置換術（TAVRまたはTAVI）を心臓血管外科の協力のもと施行する準備を目下進めているところです。今後も循環器科は「救急患者は断らない」というスタンスを貫いてゆく所存ですのでよろしく願いいたします。

都立墨東病院副院長 岩間 徹



❖ 平成28年度 区東部医療圏地域医療講演会 ❖

平成28年度区東部医療圏地域医療講演会を下記の日程により開催いたします。
本講演会への参加は、事前申込み及び参加費は不要となっておりますので、
たくさんの皆様の参加をお待ちしております。

※止むを得ない事情により予定を変更・中止する場合があります。詳細については、主催医師会さまへご確認ください。

日時	会場	演題	講師	主催医師会
9月14日(水) 19:30～20:30	東武ホテル レバント東京	本邦における経カテーテル 大動脈弁留置術 (TAVI)	慶應義塾大学医学部循環器内科 専任講師 林田健太郎	江東区医師会
10月12日(水) 19:30～21:00	墨東病院 病棟14階 A講堂	感染対策 (病院、診療所)	墨東病院 感染症科医長 岩淵千太郎	江戸川区医師会
11月9日(水) 19:30～21:00	墨東病院 病棟14階 A講堂	外来における 精神科疾患患者への対応	墨東病院 神経科医長 鮎田 栄治	墨田区医師会
1月11日(水) 19:30～20:30	墨東病院 病棟14階 A講堂	プライマリーケアで注意する リウマチ・膠原病	墨東病院 リウマチ膠原病科 医長 島根 謙一	江東区医師会
2月8日(水) 19:30～20:30	墨東病院 病棟14階 A講堂	アブレーションについて (仮題)	未定 (東京臨海病院)	江戸川区医師会
3月8日(水) 19:30～21:00	墨東病院 病棟14階 A講堂	嚥下障害について	墨東病院 リハビリテーション科 新見 昌央	墨田区医師会

* 10/12 (水) 講演会終了後、情報交換会を予定しております。

墨東病院人事異動

【採用】平成28年6月1日付

救命救急センター医員 中村 一葉 なかむら かずは

【採用】平成28年7月1日付

麻酔科医員 河村 尚人 かわむら なおひと

麻酔科医員 永村 陽子 ながむら ようこ

救命救急センター医員 石田 琢人 いしだ たくと

【転出】平成28年5月1日付

産婦人科医長 岡田 智志 おかだ さとし

【退職】平成28年4月30日付

産婦人科医長 清木 孝之 せいき たかゆき

産婦人科医員 東上 加波 ひがしうえ かなみ

救命救急センター医員 大島 聡人 おおしま あきと

【退職】平成28年6月30日付

循環器科医員 金子 雅一 かねこ まさかず

紹介予約のご案内

当院の受診は救急の場合を除き、紹介予約制を原則としています。

緊急の場合

緊急の場合は必ずご一報下さい。

● 電話予約センター TEL:03(3633)5511(直通) 受付時間 午前8:30～午後5:00

● 診療放射線科検査予約 MRI・CT検査 TEL:03(3633)6191 (FAXと兼用)
RI検査・放射線治療 TEL:03(3633)6192 (FAXと兼用)
受付時間 午前9:00～午後5:00

● 問い合わせ先 医事課「医療連携担当」 TEL:03(3633)6151(代表)内線2115
FAX:03(3633)7130

● 診療放射線科検査予約の用紙はホームページからダウンロードできます。

● 月～土 午前9時～午後5時

TEL:03(3633)6151(代) 当該診療科の救急当番医師

● 夜間、休日

TEL:03(3633)6151(代) ER担当

● 三次救急

TEL:03(3633)6151(代表) 救命救急センター

墨東病院ホームページ 医療関係者の皆様へ 医療連携のご案内 検査予約のご案内